

八郷小学校いじめ防止対策年間計画

□:教師の活動 ○:児童の活動 ◇:保護者の活動

学期	月	取組内容 (例)	指導のポイント
1 学 期	4 月	□:学校間、学年間の情報交換及び指導記録の引継ぎ □:指導方針及び指導計画等の策定と共通理解 【いじめ防止対策委員会・職員会議】 □・○:学級開き(人間関係づくり・学級のルールづくり) 【始業式・学級活動】 □・◇:保護者へ『いじめ防止対策』に向けた取組説明及び啓発 【PTA総会】	・いじめの被害者、加害者の関係を確実に引き継ぐ。 ・全校体制で指導するためにも共通理解を図る。 ・学校がいじめ問題について、本気で取組む姿勢を児童や保護者に示す。
	5 月	□・◇:保護者へ『いじめ防止対策』に向けた取組説明及び啓発 【家庭訪問】 □・○:春の遠足を通した人間関係づくり 【学年行事・学級活動】 ○:Q-U調査の実施と活用 【学級活動】 □・◇:地域へ『いじめ防止対策』に向けた取組説明及び啓発 【学校運営協議会】	・学校がいじめ問題について、本気で取組む姿勢を保護者に示す。 ・班編成等、児童の活動の場面に留意が必要である。 ・Q-U調査の実施時期に配慮する。(行事の前後は避ける) ・学校がいじめ問題について、本気で取組む姿勢を地域に示す。
	6 月	□・○:いじめ調査<学校>の実施と活用 □・○:教育相談の実施 【学級活動】 ○:話し合い活動『学級の課題について』 【学級活動】	・6月は児童の人間関係に変化が表れやすい時期である。 ・1学期の折り返しの時期にあたり、学級の課題を教師と児童が共有し、今後の活動に活かしていく。
	7 月	□・○:話し合い活動『1学期の振り返り』 【学年・学級活動】 □:1学期の生徒指導の振り返り 【職員会議】	・1学期の活動を振り返るなかで、いじめ防止対策の点検を行う。 ・1学期を振り返り、生徒指導上の課題を教師間で共有し、次学期へつなげる。
2 学 期	8 月	□:いじめや教育相談等に係る研修会への参加 【夏季研修会等】 □:Q-U調査の分析と共通理解 □:2学期の生徒指導について共通理解 【校内研修会】	・各研修会で、いじめや教育相談等についての研修を深め、今後の指導に活かしていく。
	9 月	□:夏休み明け児童の様子把握 □・○:いじめ調査<市教委>の実施と活用 【学級活動】 □・○:教育相談の実施 □・○:学校行事(運動会)を通した人間関係づくり 【学年・学級活動】	・夏休み明け、児童の様子の変化に注意する。(保護者へ連絡) ・行事に向けて、活動中の児童の様子に十分気を配る。
	10 月	○:Q-U調査の実施と活用 【学級活動】 □・○:学校行事(修学旅行・自然教室等)を通した人間関係づくり 【学年行事・学級活動】	・児童が主体となって活動できるよう、活動意欲と自覚を促す支援をする。 ・Q-U調査の実施時期に配慮する。(行事の前後は避ける)
	11 月	□・○:いじめ防止啓発月間 【児童会活動】 ○:話し合い活動『学級の課題について』 【学級活動】	・児童が主体となって、いじめ防止に向けた取組を進める。 ・2学期の折り返しの時期にあたり、学級の課題を教師と児童が共有し、今後の活動に活かしていく。
12 月	□・○・◇:『教育活動に関するアンケート』の実施 【アンケート】 □・○:話し合い活動『2学期の振り返り』 【学年・学級活動】 □:2学期の生徒指導の振り返り 【職員会議】	・2学期の活動を振り返るなかで、いじめ防止対策の点検を行う。 ・2学期を振り返り、生徒指導上の課題を教師間で共有し、次学期へつなげる。 ・児童・保護者の意見を聞き、点検活動につなげる。	
3 学 期	1 月	□:冬休み明け児童の様子把握 □・○:いじめ調査<学校>の実施と活用 【学級活動】 □・○:教育相談の実施	・冬休み明け、児童の様子の変化に注意する。(保護者へ連絡) ・様子の変化については、教師間で共通理解を図る。
	2 月	○:話し合い活動『学級のまとめに向けて』 【学級活動】	・新年度の学級編成に向け、人間関係に不安を感じ訴えてくる児童の声を拾う。
	3 月	□・○:話し合い活動『一年間の振り返り』 【学級活動】 □:指導記録の整理、進級する学年への引継ぎ資料の作成 □:指導方針及び指導計画の点検と申送り 【いじめ防止対策委員会・職員会議】 □:保・幼と小、小と中との連絡会の実施	・いじめに関する情報を確実に引継ぐための資料を準備する。 ・教師による教育活動の反省を参考に、次年度に向け、指導の準備を進める。